

令和6年度 福祉事業部活動報告

今年度の研修会を記の通り開催いたしました。

日時：令和6年9月15日（日） 13:00～15:00

場所：広島健康福祉センター3階 広島県栄養士会事務局 Web 研修

講演

演題 『 食べる支援の実際と未来予想図 』

～緩和ケアから在宅支援まで～

講師 むらた日帰り外科手術クリニック
一般社団法人日本在宅栄養管理学会 理事
塩野崎 淳子 先生



《講演内容》

令和6年度介護報酬改定において、在宅療養者に対する切れ目のない栄養支援を行うことが益々大切になってきている。塩野崎先生は、以前、居宅介護支援専門員として従事する中で、栄養ケアの重要性を痛感され、2015年に機能強化型認定栄養ケア・ステーション「訪問栄養サポートセンター仙台」を立ち上げられ、在宅訪問管理栄養士として活動されている。その活動は、医療的ケア児や訪問歯科同行へと活動拠点の幅を広げられ、地域で活躍されている。

今回は、①訪問栄養指導の始め方とその継続について ②訪問栄養指導の事例紹介 ③多職種連携の実際 ④地域でつながるためにという内容で、お話していただいた。

具体的な事例を拝見し、在宅訪問栄養指導の効果を実感したという感想が寄せられた。シームレスな支援には、医療・介護の連携が不可欠である。病院勤務の栄養士からは、在宅訪問でのポイントは何かとか、栄養ケア・ステーション事業者からは、人材育成に必要なことなど、多くの質問が寄せられ、実践に即した有意義な研修であった。